

## 日光角化症



徳島大学大学院 医歯薬学研究所  
皮膚科 准教授

村尾 和俊氏  
むらお かずとし

紫外線には遺伝子を傷害する波長が含まれるため、長時間日光に当たる生活を続けていると皮膚がんが生じやすくなります。日光角化症は紫外線によって生じる皮膚がんの一つです。高齢者の顔面・手背などの露光部に好発し、黄白色の鱗屑を付着する紅色病変（赤いシミの様な）として生じます。日光角化症はがん細胞が皮膚の浅い所に局限している前がん状態ですので、この段階で治療をすれば転移などを起こすことはありません。しかし、放置すると皮膚有棘細胞がんへと進行することがあります。

農業などで長時間屋外の仕事に従事されてきた方は、顔に「赤いシミ」の様な病変がなにかチェックしてみてください。また、強い日差しの日には日焼け止めを活用し、皮膚がんを予防しましょう。



徳島大学病院がん相談支援センター  
がんの相談はこちらへ 相談窓口 Tel.088-633-9438

がん診療連携センター  
<http://www.tokudai-ganrenkei.jp>



徳島がん対策センター  
<http://www.toku-gantaisaku.jp>